



暮らしに役立つ予算案か

遠藤 宏司 議員

役立つ施策と自信を持っている

町長

町民に心通う思いを 込めた予算案を

町長は全国有数の豪雪地帯である当町において安心して快適な暮らしを実現することは最優先的課題としている。半世紀以上にわたる積雪深や累計降雪量のデータがあり、除雪や排雪にかかる費用の推計は充分できる。除雪の事は農家のみならず中小の建築業や土木業にとり冬の重要な収入源だ。充分な予算にすべきではないか。

地方創生長期・短期の具体策を

高齢化と少子化で人口減少は確実。地方創生に向け、一つでも二つでも具体的な高齢化・少子化対策をとるべき時代だ。福祉灯油券の支給は後期高齢者だけでなく、高齢者世帯全体に広げられるべき



除排雪の予算は充分か

町長 除雪費はいくらかかるか分からないもので

ちなみにある町では予算を置かず、除雪車・排雪車が出動することに補正予算を組んでやると言うことを聞いています。町の実状を勘案した予算だと考えています。

ではないか。高校生までの医療費の無料化を進め、先進的子育て支援の町にすべきではないか。

に策定する。道路や流雪溝の整備は着実に進捗しており、中学3年生までの医療費無料化は県内に先駆け行ってきた。交流センターの整備も目前に迫っており、老若男女、町民各層が幅広く利用できる施設となるよう計画している。



心かようボランティア活動(涌谷中学生)



最上川を活かし町の創生を

齋藤 公一 議員

長期的に考える

町長

最上川さみだれ親水公園を

全国的に知られる最上川を活かし大橋から黒瀧橋までをエリアとした遊歩道を造り、仮称「最上川さみだれ親水公園」を整備し、町内外にアピールすることで町民の憩いや交流人口の拡大につながるようになる。一層の誘客に向けて町の創生を図るべきだ。



さみだれ親水公園の実現を

町長 町は依然として厳しい財政下にあるので、既存公園施設の利用維持

管理、再整備の検討を踏まえ、将来的な町全体の公園緑地、水辺のあり方について慎重に検討する。

最上川資料館を建設する考えは。

町長 舟運文化で栄えた当町は「大石田河岸絵図」など貴重な文化財が数多くあるので、長期的な展望に立って考慮していく。

駅前宅地の有効活用を

寄贈された駅前の宅地や町内の空き家を活用し



町一本化が実現したそば営農組合

て定住対策をすべきだ。町長 駅前宅地の有効活用は必要と考えている。ただし、町民交流センターの整備を最優先に財政計画を行っているので新たなハード事業に取りかかるには少し時間をいただきたい。

農業活性化策は

農業は当町の基幹産業で、いかなる情勢でも農

業の活性化を図らなければならぬ。町全体で営農組合を立ち上げる考えはないか。

町長 農業活性化策として各地区に農用地利用改善組合の組織化を進めている。平成27年度中には数地区を残しほとんどの地区で組織化される予定になっている。今後は連合会的組織の設立後、営農組合設立に向け検討していきたい。